

殺菌剤

トレノックス®フロアブル

チウラム…………… 40.0%

種類名／チウラム水和剤
 農林水産省登録／第21875号
 毒性／普通物*
 有効年限／4年
 包装／1ℓ×12、2ℓ×6

特 長

- 本剤は予防効果に優れたチウラムを有効成分とする保護殺菌剤です。
- 抗菌スペクトラムが広く、各種病害の同時防除が可能です。
- 耐性菌の発生の心配が少ない薬剤です。

適用病害と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法		
りんご	斑点落葉病 黒星病 黒点病 褐斑病 すす点病 すす斑病 赤星病 炭そ病 輪紋病 灰色かび病	500倍	200～700ℓ	収穫30日前 まで	本剤 5回 チウラム剤 5回	散布		
	なし				黒斑病 黒星病 赤星病 心腐れ症(胴枯病菌) 炭そ病 褐色斑点病		本剤 5回 チウラム剤 5回 [休眠期は1回]	
もも				黒星病 灰星病 縮葉病 せん孔細菌病	収穫7日前 まで		本剤 5回 チウラム剤 5回	
ネクタリン	同上			同上	同上		同上	
かき	落葉病 炭そ病 うどんこ病			同上	収穫30日前 まで		本剤 2回 チウラム剤 2回 [休眠期は1回]	
すもも	ふくろみ病 炭そ病			同上	収穫14日前 まで		本剤 3回 チウラム剤 3回	
おうとう	褐色せん孔病 炭そ病 灰星病 幼果菌核病			同上	同上		収穫21日前 まで	本剤 5回 チウラム剤 5回 [萌芽後は2回]
	あんず			かいよう病	同上			本剤 3回 チウラム剤 3回
うめ	黒星病			同上	同上		本剤 2回 チウラム剤 2回	
ぶどう	晩腐病 べと病 灰色かび病 褐斑病 黒とう病			1000倍	同上		収穫60日前 まで	本剤 2回 チウラム剤 3回 [休眠期は1回、 生育期は2回]

(つづく)

作物名	適用病害名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
いちご	炭そ病	500倍	100～300ℓ	育苗期	本剤 5回 チウラム剤 7回 〔育苗期は5回、 生育期は2回〕	散布
				生育期 但し収穫開始 21日前まで	本剤 2回 チウラム剤 7回 〔育苗期は5回、 生育期は2回〕	
りんどう	褐斑病 葉枯病 炭そ病 灰色かび病	500倍	100～500ℓ	発病初期	本剤 6回 チウラム剤 6回	
花き類・ 観葉植物 (りんどうを除く)	灰色かび病 炭そ病					

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 石灰硫黄合剤、ポルドー液との混用はさけてください。
- 銅剤との近接散布は葉の汚れを生じるので注意してください。
- あんずを使用する場合、果実に汚れを生じるおそれがあるので、落花30日後以降の散布はさけてください。
- いちごの開花期以後の散布は、果実の汚れを生じるおそれがあるので十分注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- ぶどうに使用する場合、幼果期～袋掛けまでの散布は、果房の汚れや果粉溶脱を生じるおそれがあるので、十分注意してください。
- シクラメンに使用する場合、花卉に薬害を生じるおそれがあるので、花柄伸長期以降は使用しないでください。

■蚕毒

- 蚕に対して毒性があるので、桑葉にかからないように注意して散布してください。

■水産動植物への注意



- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。



- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
 - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 貯蔵上の注意
- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年10月11日現在の登録内容に基づいています。